

6 高齢者のいる世帯の状況

65歳以上の世帯員がいる主世帯を「高齢者のいる世帯」とし、次のとおり区分。

「高齢単身世帯」 65歳以上の単身の主世帯

「高齢者のいる夫婦のみの世帯」 夫婦とも又はいずれか一方が65歳以上の夫婦のみの主世帯

「高齢者のいるその他の世帯」 高齢者のいる世帯から上記の二つを除いた主世帯

(1) 世帯数の推移

主世帯の半数以上が高齢者のいる世帯

図 16 高齢者のいる世帯の推移—富山県(昭和 58 年～平成 30 年)

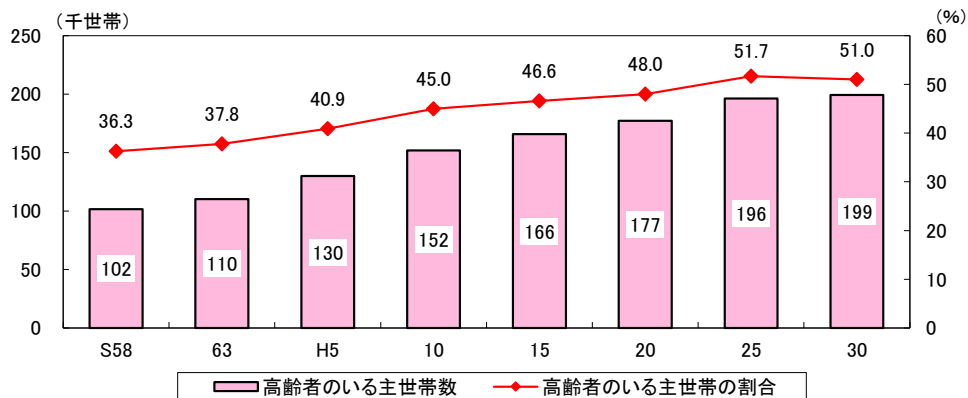
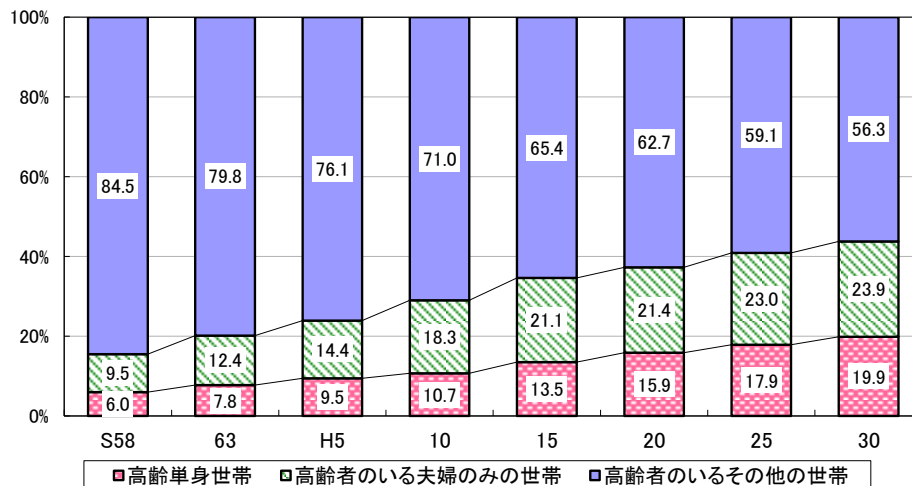


図 17 高齢者のいる世帯の型別割合の推移—富山県(昭和 58 年～平成 30 年)



高齢者のいる世帯は 199,400 世帯で、主世帯全体 (390,900 世帯) に占める割合は 51.0% (全国 42.0%) となっている。平成 25 年の 196,300 世帯から 3,100 世帯 (1.6%) 増となっている。高齢者のいる世帯は増加を続けており、平成 25 年以降は主世帯の過半数を占めている。

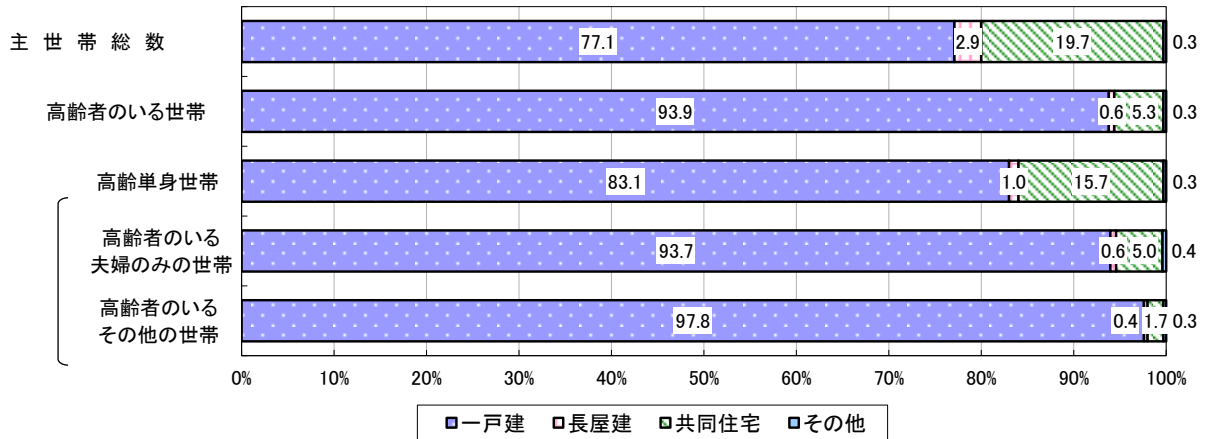
世帯の型別にみると、「高齢単身世帯」が 39,600 世帯で 19.9% (全国 28.3%)、「高齢者のいる夫婦のみの世帯」が 47,600 世帯で 23.9% (全国 28.8%)、「高齢者のいるその他の世帯」が 112,200 世帯で 56.3% (全国 42.9%) となっている。平成 25 年と比べると、「高齢単身世帯」が 4,500 世帯 (12.8%) 増、「高齢者のいる夫婦のみの世帯」が 2,400 世帯 (5.3%) 増となっている。

< 図 16、図 17 >

(2) 住宅の建て方・所有の関係

高齢者のいる世帯は一戸建及び持ち家に居住する割合が高い

図 18 世帯の型、住宅の建て方別割合—富山県(平成 30 年)

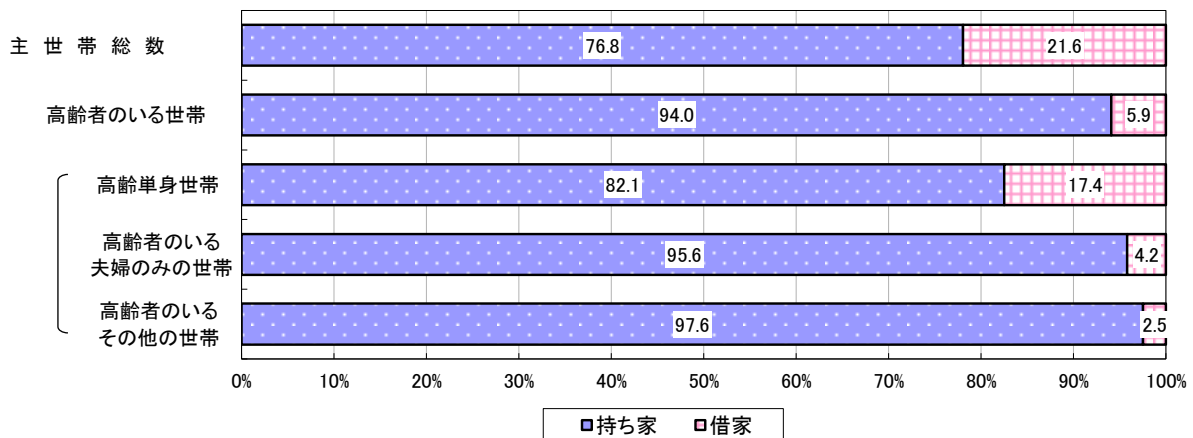


高齢者のいる世帯について、住宅の建て方別割合をみると、一戸建が 93.9%、共同住宅が 5.3% などとなっている。主世帯全体（一戸建 77.1%、共同住宅 19.7%）に比べ、一戸建の割合が高く、共同住宅の割合が低くなっている。

これを世帯の型別にみると、「高齢者のいるその他の世帯」では一戸建の割合（97.8%）が特に高くなっており、「高齢単身世帯」では他の世帯の型に比べ共同住宅の割合（15.7%）が高くなっている。

< 図 18 >

図 19 世帯の型、住宅の所有の関係別割合—富山県(平成 30 年)



高齢者のいる世帯について、住宅の所有の関係別割合をみると、持ち家が 94.0%、借家が 5.9% となっている。主世帯全体（持ち家 76.8%、借家 21.6%）に比べ持ち家の割合が高くなっている。

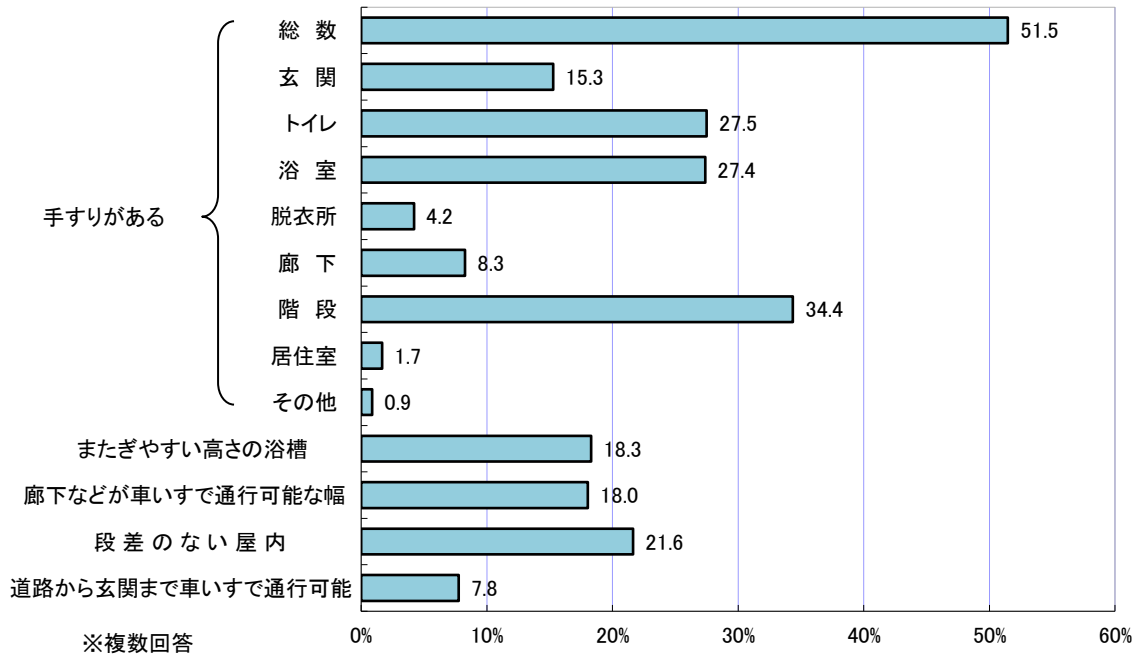
これを世帯の型別にみると、「高齢者のいる夫婦のみの世帯」及び「高齢者のいるその他の世帯」では持ち家の割合（それぞれ 95.6%、97.6%）が特に高くなっており、「高齢単身世帯」では他の世帯の型に比べ借家の割合（17.4%）が高くなっている。

< 図 19 >

(3) 高齢者等のための設備

半数以上の住宅に高齢者等のための設備あり

図 20 高齢者等のための設備がある住宅の割合－富山県(平成 30 年)



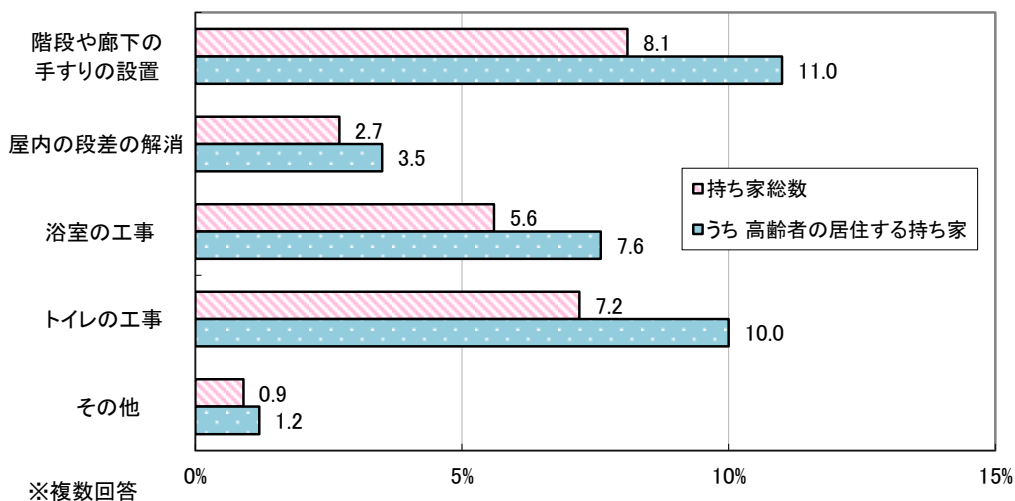
高齢者等のための設備のある住宅は 226,400 戸となっており、住宅全体 (390,900 戸) に占める割合は 57.9% (全国 50.9%) で、全国 2 位となっている。

高齢者等のための設備の状況 (複数回答あり) をみると、「手すりがある」が 51.5% と最も高く、次いで「段差のない屋内」が 21.6%、「またぎやすい高さの浴槽」が 18.3%、「廊下などが車いすで通行可能な幅」が 18.0% などとなっている。また、手すりの設置場所をみると、「階段」が 34.4%、「トイレ」が 27.5%、「浴室」が 27.4% などとなっている。

< 図 20 >

平成 26 年以降に高齢者等のための設備工事が行われた持ち家は 14.7%

図 21 平成 26 年以降における高齢者等のための設備工事の状況別持ち家の割合－富山県(平成 30 年)



平成 26 年以降における高齢者等のための設備工事の状況についてみると、「工事をした」が 44,100 戸で、持ち家全体 (300,100 戸) に占める割合は 14.7% (全国 12.4%) となっている。このうち、高齢者の居住する持ち家についてみると、「工事をした」が 37,200 戸で、高齢者の居住する持ち家全体 (187,500 戸) の 19.8% (全国 18.4%) となっている。

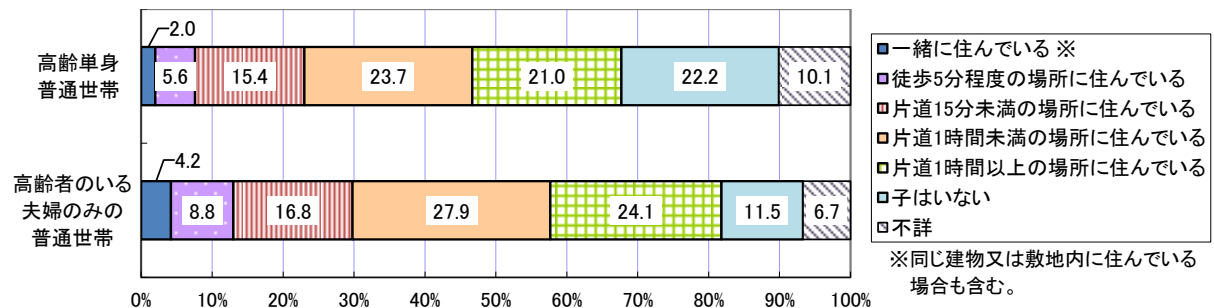
設備工事の内訳 (複数回答あり) をみると、持ち家全体では「階段や廊下の手すりの設置」が 8.1%、「トイレの工事」が 7.2%、「浴室の工事」が 5.6% などとなっている。高齢者の居住する持ち家においては、「階段や廊下の手すりの設置」が 11.0%、「トイレの工事」が 10.0%、「浴室の工事」が 7.6% などとなっている。

< 図 21 >

(4) 子の居住地

高齢单身普通世帯の約 4 分の 1 は、片道 15 分未満の場所に子が居住

図 22 子の居住地別高齢者普通世帯の割合—富山県(平成 30 年)



高齢单身普通世帯 (39,600 世帯) について、子 (未婚の子だけでなく既婚の子や子の配偶者も含む) の居住地をみると、「一緒に住んでいる (同じ建物又は敷地内に住んでいる場合も含む)」が 800 世帯 (2.0%)、「徒歩 5 分程度の場所」が 2,200 世帯 (5.6%)、「片道 15 分未満の場所」が 6,100 世帯 (15.4%) などとなっており、子がない世帯は 8,800 世帯 (22.2%) となっている。

高齢者のいる夫婦のみの普通世帯 (47,700 世帯) では、「一緒に住んでいる (同じ建物又は敷地内に住んでいる場合も含む)」が 2,000 世帯 (4.2%)、「徒歩 5 分程度の場所」が 4,200 世帯 (8.8%)、「片道 15 分未満の場所」が 8,000 世帯 (16.8%) などとなっており、子がない世帯は 5,500 世帯 (11.5%) となっている。

片道 15 分未満の場所に子が居住している世帯の割合をみると、高齢单身普通世帯では全体の約 4 分の 1 となっており、高齢者のいる夫婦のみの普通世帯では約 3 割となっている。

< 図 22 >